

# 福祉保育労東京地本青年部

## 第16回総会議案

2010年12月15日

### 総会を迎えて

「給料があがらない」「将来が不安」「政治に期待が持てない」、そんな声が福祉・保育に働く青年のなかに広がっています。

福祉保育労全国青年部が一昨年夏に初めてとりくんだアンケートでは福祉・保育に働く青年の実態と願いが明らかになりました。生活について77%が「厳しい」と答え、やりがいを8割以上が感じる一方で、8割近い人が「見合った賃金ではない」とし、3人に2人が「心身がきつい」と感じています。やりがいを



感じて就職して働き始めたけれど、賃金が十分に上がらない。仕事はどんどんきつくなる一方。仕事も時間も正規とほぼ同じなのに、賃金は安く不安定な非正規雇用。働いても働いても豊かにならないワーキングプア（働く貧困層）が増え、福祉・保育の担い手にもその層が拡大しています。

福祉・保育を支える私たちへの支援に、前の政権もいまの政権も消極的です。それどころか、保育制度については、国や自治体の責任を切り下げて、保護者・子育て家庭が自己責任で契約する「買うサービス」に転換させようという動きが強まっています。また、現場の厳しさと運動で創設された高齢者介護・障害者福祉の介護職員を対象にした交付金も、改善される様子はない状況です。

しかし、私たちは、貧困と格差が国民生活を覆うなか、その厳しさと向き合い、労働組合を通じて、職場のなか、そして外へ働きかけています。よりよい職場と、それを実現できる制度の充実を求めて。

逆風に負けない、あきらめないのが労働組合です。福祉保育労東京地本の執行部や支部、分会でも、その厳しさをかかえた青年組合員が役員になって活動を支え、疑問や本音、生活実感と要求を出し合い、実現していける組合にしていこうとがんばる姿も目立っています。なかまがいることや組合があることをいっしょに喜び、政治や理不尽な提案には怒り、うまくいかないことを哀しみ、そしてみんなで楽しむこと、「喜怒哀楽」を共有して、労働組合の活動を広げていきましょう。

福祉保育労東京地本青年部として、「楽しく学ぶ・遊ぶ」をテーマに活動をすすめて、第16回の総会を迎えることができました。みんなでつくる活動にむけて、力あわせてがんばりましょう。



# 2009－2010年度活動報告

2009年12月～2010年11月

## ◆運 営

月1回のスタッフ会議と事務局会議（役員会議）で活動を運営してきました。支部による選出を中心にしつつ、希望すれば誰でも参加できるスタッフ会議にと心がけてきました。

○4月Tシャツ販売（年度：全国 1910着、うち東京扱い280着）

憲法9条をアピールしようと東京でも普及しました。東京地本の分会でも、「メーデー参加者が全員着る」「9のつく日にそろって着ている」などの反響もあり、世代と職場をこえて好評でした。

○6月5日 ボウリング大会（15人参加）

チーム対抗で優勝めざして投げあいました。終了後は、居酒屋交流会へ。ふだんなかなか話せない中身も含めて盛り上がりました。

○8月21・22日「青年労働組合講座 本気で学ぶ なつわか。In東京」70人参加（東京5人）

5人のカラーのちがった青年リレートークのあと、福祉保育労の前田委員長、全労連の坂内前議長の講演へ。間に、グループに分かれての「パネルトーク」（白い紙にテーマの答えを書いて、見せ合い、発表しあう）で交流しました。

○スタッフ会議 参加者の広がりもありました。学べる映像を視聴して感想を出し合うなど、内容も改善されました。

## ◆活動を振り返って

「楽しく遊ぶ・学ぶ」ことをめざしてスタッフ会議を重ねていますが、日程をあわせたり、会議を時間通りに始めたりということが難しくなってきましたが、今年は参加の広がりもありました。スタッフになってくれる人を増やす工夫をさまざまにしていく必要があります。参加をもっと広げるために、魅力ある活動づくりが求められています。ここ数年の総会は好評ですが、要望のある「わかりやすい学習会」「楽しい企画」というめざす方向を意識してきました。「学び」のきっかけづくりが求められています。

## ◆青年労働組合講座「本気で学ぶ なつわか。」in東京海&全国青年部第4回大会

東京から5人の参加を含む全国で70人が参加（別紙資料「福祉のなかま」参照）。開催地の東京の参加者が少なく残念でしたが、各地方組織の青年部や青年組合員の活動、その一人ひとりの声にもふれることができました。

## ◆たいせつにしたこと

スタッフ会議の際には、提案や話し合いだけでなく、職場に戻って役に立つ知識を学びあおうと、映像で学ぶことを重視してきました。メンタルヘルスを扱った「チェックしよう！あなたの職場」「セルフケア」、失業・貧困問題の「ワンストップサービス」などについてDVDをみて、感想を交流する中での学び合いもすすめてきました。「夏にむけての目標」「いま、注目している人」「組合に入ってよかったこと」などのパネルトークも行いました。ボウリング大会で交流も深めましたが、次期はもっと早い時期に話せる交流企画をとという声があがっています。

## ◆課題

1日100前後の訪問者、100~300のページ閲覧がある福祉保育労青年部ブログをさらに広げていくこと、独自のニュースの発行（全国青年部としては年4回程度発行）、スタッフ会議の運営、企画（イベント）の広がりが課題です。

# 2010~2011年度活動方針（案）

## 1. 楽しく遊びます・学びます

私たち青年は成長していくために「人と出会っていろいろなことを経験したい」「知識をつけたい」など、たくさん要求を持っています。東京地本の支部や種別の枠を超えてみんなで楽しめる交流企画や、成長していくための学習企画を打ち出します。2月までにスタッフを中心に交流イベントを行います。8月には全国青年部の学習交流イベントに参加します。

## 2. みんなでつくります

誰でも参加できるスタッフ会議でねらいと骨格を決め、企画の準備・運営にあたります。支部から選出されたスタッフだけでなく、希望すれば誰でもスタッフとしてスタッフ会議に参加できます。

## 3. 若い発想と行動力を東京地本に反映させます

長く働きつづけたい、結婚しても働きたい、車や家も買いたいなど要求があるなか、賃金が下げられてしまっただけでは生きがいを持ってなくなってしまいます。また、仕事の密度が濃くなりすぎると働きがいを感じられなくなります。東京地本に若い発想と行動力を反映させ、若いなかまが組合加入・活動参加しやすい環境をつくっていきます。

## 4. 福祉だけや東京だけにとどまりません

福祉保育労には全国のなかまがいます。これまでの学習交流企画の経験を生かして、埼玉県本部や関東甲信越ブロック（埼玉・千葉・神奈川・茨城・長野・山梨・群馬・栃木・新潟）との交流もおこないます。2007年夏に結成された福祉保育労の全国青年部の活動にかかわり、とりくみをすすめていきます。福祉以外の労働組合青年部との交流も探っていきます。

## 5. タイムリーなニュースやブログで伝えます

全国青年部のニュース「てくてく。」を広げていきます。全国青年部ブログ（<http://fukuhowaka.seesaa.net>）をまわりに知らせていきます。

## 6. 未来を託せる政治の実現にむけて頑張ります

わかりやすさと行動力を大切にしながら積極的に国政・都政などの状況や問題を学び、まわりに知らせていきます。2011年4月には東京都知事選挙も行われます。スタッフ会議のなかでも学習していきます。

## 7. 憲法を守るために行動します

憲法9条を変えて戦争のできる国にしようという動きが強まっています。また、25条を変えて福祉を公的責任ではなく自己責任にしようということもねらわれています。憲法の大切さをわかりやすく伝え、守り生かすために行動していきます。好評の全国青年部のTシャツのデザイン案（募集1月15日まで）を考え、春からのTシャツ普及・販売にとりくみます。